

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	福井県	事業実施主体	勝山市	地域再生計画名	水産資源を活かした交流人口拡大・地域経済活性化推進計画
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	勝山市未来創造課長 藤澤 武久		

	地域再生計画の目標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価			
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標 総数	達成 数				
①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	目標1	汚水処理人口普及率	89.1%	H30	93.8%	R4	96.9%	95.7%	R6	96.9%	○	3	1	公共下水道及び合併処理浄化槽を一体的に整備したことにより目標値を達成した。
	目標2	勝山市域における年間の鮎釣り客数	4,410人	H30	9,200人	R4	5,125人	10,000人	R6	5,862人	×			河川環境の改善等により品質向上等に結び付いたが、大きく増加するこなく微増にとどまった。
	目標3	勝山市漁業協同組合の売上額	10,016千円	H30	21,000千円	R4	14,397千円	22,000千円	R6	15,253千円	×			河川環境の改善等により品質向上等に結び付いたが、大きく増加するこなく微増にとどまった。
②事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価		達成状況			
	指標1	汚水処理人口普及率	90.8%	R2	93.8%	R4	96.9%	95.7%	R6	96.9%	－	－		
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
		計画	中間年度 (R)	最終実績										
地域再生計画に記載がある 特別の措置を適用して行う 事業	公共下水道	357m	360m	360m		令和3年度で事業は完了しており、計画通り整備することができた。								
	マンホール中継ポンプ施設	2基	2基	2基		令和3年度で事業は完了しており、計画通り整備することができた。								
	合併処理浄化槽（個人設置型）	15基	3基	4基		当初計画に対する進捗率は27%に留まったが、汚水処理人口普及率は目標値を達成している。								
その他の事業	「九頭竜川勝山あゆ」 地域ブランド振興事業	「九頭竜川勝山あゆ」の地域ブランド化をめざし、鮎の安定的な確保・出荷体制の確立や多様な販路開拓、九頭竜川の水産資源等のPR、河川環境の保全に向けた取り組みなどを推進する。			勝山市漁業協同組合が中心となって「九頭竜川勝山あゆ」の地域ブランド化を推進する活動を次のとおり行った。 ・九頭竜川勝山あゆ友釣り体験事業…鮎釣りの楽しさを継続して実感してもらう ・九頭竜川勝山あゆPR事業…市内小中学校での試食を行いブランドの周知を図る									
	内水面漁業振興事業	「九頭竜川勝山あゆ」の漁獲量を確保するため九頭竜川に稚魚を放流し、市内を訪れる鮎釣り客の増加を促す。			勝山市漁業協同組合が九頭竜川において稚鮎放流事業を実施し、「九頭竜川勝山あゆ」の漁獲量の確保を図った。									
	水産多面的機能発揮対策事業	九頭竜川流域の自然環境保全や美化活動を行い、河川環境保全に大きな影響を及ぼす内水面の生態系維持・保全を図る。			河川の環境保全に大きな影響を及ぼす内水面の生態系の維持・保全・改善を図るため、定期的な清掃活動の実施、モニタリング、小学生等を対象にした出前講座などを開催した。									
	合併処理浄化槽設置整備事業補助金（単独）	生活排水による公共水域の水質保全を図るため、整備指定区域における合併処理浄化槽の設置に関し、国庫補助事業の経費不足あるいは単独にて支援する。			公共水域の水質保全を図るため、公共下水道、農業集落排水事業認可区域外及び管渠敷設困難地域において、合併処理浄化槽の設置に対する補助を行った。									
	エコ環境都市推進事業	環境負荷の少ないグリーンで環境に配慮したエコ環境都市を実現するため、各種団体等による自主的かつ意欲的な環境保全活動を支援する。			地域や各種団体、民間事業者が実施する地域の環境保全活動「勝山をきれいにする運動」や九頭竜川河川敷の清掃活動「クリーンアップ九頭竜川」などの事業の実施を通じて、市民の環境意識の向上を図った。									
	ESD推進事業	小中学校がそれぞれの特色を生かし環境学習中心に添えた活動を実施し、持続可能な発展のための教育を実施する。			勝山市内小中学校がユネスコスクールに加盟し、「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」を生かした「環境教育」と「ふるさと学習」を柱とした持続可能な発展のための教育を実践している。なお、河川に関する活動については次のとおり行った。 ・鮎の採卵体験・稚鮎の放流・河川の清掃活動・河川の環境調査 など									
	ジオパーク推進事業	「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」の歴史・文化・自然遺産を活用し、持続可能な地域の発展を図る。			「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」の自然や歴史文化などを確実に保全し、地域を知って学んで活用することによって、持続可能な地域の発展に努めた。									
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	勝山市総合行政審議会により、事業の外部評価・検討などを行っている。													
⑤事後評価の公表方法	勝山市未来創造課のホームページに掲載する。													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用した公共下水道及び合併処理浄化槽（個人設置型）の整備を一体的に行うことにより、汚水処理人口普及率の向上や未水洗化人口を減少することで、九頭竜川をはじめとした河川の水質保全や水辺環境の維持につなげることを目的としている。また、河川環境の改善を「九頭竜川勝山あゆ」の品質向上に結び付け、地域ブランドとして全国にPRし、勝山市へ訪れる鮎釣り客の増加や地域経済の活性化を図っている。なお、指標1の汚水処理人口普及率は目標値を達成しているなか、指標2の勝山市域における年間の鮎釣り客数と指標3の勝山市漁業協同組合の売上額については目標値に届いていないが、目標数値に近づけるよう、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。													
⑦今後の方針等	引き続き、公共下水道及び合併処理浄化槽（個人設置型）の整備を一体的に行うことにより、汚水処理人口普及率の向上や未水洗化人口を減少することで、九頭竜川をはじめとした河川の水質保全や水辺環境の維持につなげる。また、河川環境の改善を「九頭竜川勝山あゆ」の品質向上に結び付け、地域ブランドとして全国にPRし、勝山市へ訪れる鮎釣り客の増加や地域経済の活性化を図っていく。													